

やさしいいきいき伸びるまち

広報こうた

1994
3/1
No.572



“静”と“動”

ニイハオ
你好 (=こんにちは)！
本場中国から伝わる楊名時太極拳で
心も体もリフレッシュしています。
毎週火曜日の午前中、保健センターで開催中です。
ご自由に見学できます。
皆さんも太極拳体操で健康づくりをしてみませんか。



平成6年は町村合併40周年



主な内容

総合計画町民意向調査結果・後編…… 3～7
 生活学校レポート（福祉を考える）… 8～9
 まちの話題……………10
 みんなのひろば……………11
 消防団に入ろう……………12
 平成5年度交通事故の状況……………12
 お知らせ……………13～15
 広報でみる40年……………16

くらしのカレンダー

※日時は変更することもあります。

	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
3 MARCH				16 行政相談 (役場101 9:00～) レディース硬式テニス 教室受付開始 (8:30～) 愛知県移動図書館	17	18 彼岸	19 役場土曜閉庁日
	20	21 春分の日	22	23	24	25 春休み少年柔道 教室開講 (幸中武 18:30～)	26 役場土曜閉庁日
4 APRIL	27	28	29 矢作川上下流交流 「親子バスツアー」	30	31	1 固定資産税課税台帳 縦覧 (～20日)	2 役場土曜閉庁日 硬式テニスナイター 教室開講 (中央テ 18:30～)
	3	4	5 清明	6	7	8 花祭	9 役場土曜閉庁日
	10	11	12	13 レディース硬式テニス 教室開講 (中央テ 13:30～)	14 法律相談 (役場301 13:00～)	15	

＋救急診療

- 平日夜間急病診療所（岡崎市・電美北・☎52-1572）午後7時30分～午後11時
- 休日歯科→緊急医療センター（岡崎市・六供・☎21-0501）午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 左記以外の場合は次へお問い合わせください。
救急医療情報センター
(☎21-1133)

第4次幸田町総合計画
策定のための
町民意向調査結果
〔後編〕

申し上げ候。

御意見



町民の皆さんの意見を幅広く
生かしながら作るうとして、
第四次総合計画について、住み
よいまちづくりに向けての町民
意向調査の結果、後編をお知ら
せします。

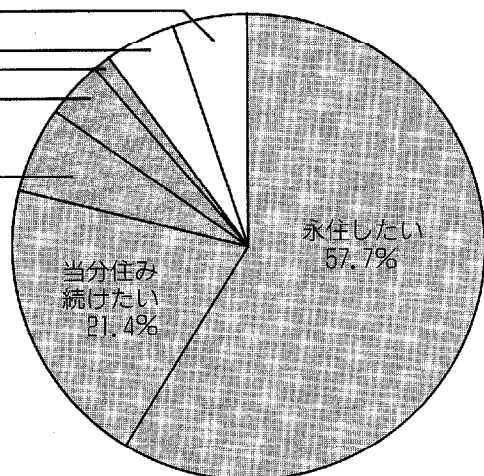
不明 5.9%

わからない
4.8%

すぐに移転したい
0.5%

移転する予定である
3.6%

できれば移転したい
6.0%



〔町内に定住するか〕

「永住したい」は五七・七%、「当分住み続けたい」が二一・四%で合
わじて七九・一%とほぼ八割が定住の意向を示しています。逆に明らか
に移転の意向を示しているのは一〇・一%で約一割です。
年齢別にみると、年齢が高くなるほどに「永住したい」の割合が高く
なっています。また、移転の意向は二〇歳代、三〇歳代の若い年齢層で
高くなっています。

定住意向は

町内に定住したい人は8割

【住みたくない理由】トップ5

第1位	自分の家や土地がない	18.9%
第2位	通勤・通学・買物に不便	15.8%
第3位	町を好きになれない	9.5%
第4位	生まれ育った所でない	8.4%
第5位	結婚のため	6.3%

【住みたい理由】トップ5

第1位	自分の家や土地がある	59.3%
第2位	住みなれ愛着がある	15.4%
第3位	自然環境が良い	9.6%
第4位	通勤・通学・買物に便利	3.4%
第5位	移ることが経済・社会的に難しい	2.7%

保健医療福祉は

複数回答

町内に
総合病院が
あるといいね

圧倒的な意見となっているのが、「総合的な医療を受けられる病院の誘致・建設を進めてほしい」であり、他を大きく離して七四・六%もの割合を示しています。

保健医療対策	総合病院の誘致・建設	74.6%
	スポーツしやすい環境づくり	33.6%
	老人保健・福祉サービスの充実	32.1%

安心して
医者にか
かりたいな

福祉対策	安心して医者にかかれる体制の充実	58.6%
	老人の介護体制整備	54.0%
	生きがい対策の充実	13.9%

男女別にみた場合に、寝たきり老人を抱えている時、家庭内において女性の負担が大きいことが伺えます。

お年寄りに
便利な
社会にしてよ

かなり意見が分かれる結果となっています。今後の高齢化社会への移行をある程度意識しているものと思われれます。しかし、具体的にどのような対応をすべきかという点に関しては、今のところ明確な方向性を獲得するまでには至っていないと考えられます。

高齢者対策	独居・寝たきり老人対策	43.0%
	老齢年金手当の充実	37.0%
	趣味や学習活動の活発化	34.5%
	地域社会貢献の体制整備	28.3%
	公共交通サービス機能の充実	20.6%

道徳心を
養うことが
大切だね

小中学校教育対策	道徳教育の充実	56.2%
	個性を伸ばす教育	48.5%
	集団生活に必要なルール	41.4%
	体力・健康づくり	36.7%
	国際化・情報化に対応した教育	20.6%

社会の中で生活していくための道徳心の養成や基礎的なルールの修得、子どもの個性、体力、健康づくりに重点をおいた学校運営が希望されています。

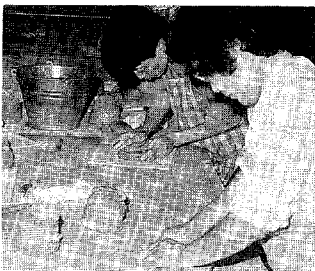
教育・文化・スポーツは

複数回答

いろんな
講座を
受けてみたい

特に圧倒的な意見はなく、むしろ意見は分散しています。いわば多様な対応が求められていると考えられます。

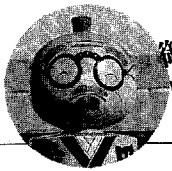
生涯学習対策	講座・教室の機会増大	32.2%
	公民館・集会施設の整備	20.8%
	美術館・博物館の建設	20.2%
	町民総参加の祭りや行事	19.8%
	芸術鑑賞の機会増大	18.7%



スポーツ施設が
不十分だよ

体育・スポーツ対策	体育・スポーツ施設の整備	25.9%
	ファミリーレクリエーションの普及	24.0%
	スポーツ教室の機会増大	22.6%
	団体クラブの育成	18.6%
	指導者の確保と養成	18.5%

学区別にみると荻谷学区と深溝学区で「体育・スポーツ施設の整備」が三〇%を超える高い割合となっていて、坂崎学区で「ファミリーレクリエーション・スポーツの普及」が二七・七%、中央学区において「スポーツ教室の機会増大」が二六・六%と、それぞれ学区内では最も高い割合を示すなどの点で微妙な相違が見られます。



御意見
申し上げます。

町民意向調査結果・後編

産業振興 (全体)	商業・サービス業振興が大切	61.0%
	農業振興が大切	51.0%
	工業振興が大切	49.0%
	観光振興が大切	32.0%

商業に力を入れてよ
産業の活性化の考え方としては、今後重視されるべき産業は「商業・サービス業振興に力を入れる」に最も高い回答を得られました。特に、二〇歳代、三〇歳代、四〇歳代で商業、サービス業振興を重視する傾向が強く、若い世代の定着を促進していくために重点的な対応が求められています。

まちの活性化(産業)は

イマっぽい
オシャレなお店がある
といいな

商業・サービス業振興	現商店街再開発と近代化	35.2%
	沿道型の商業拠点形成	33.8%
	人の脈わつ場をつくる	33.0%
	余暇・サービス産業の振興	22.2%
	個々の商店の努力を促進	21.0%

農業・工業の振興以上に、商業・サービス業の振興には大きな期待が寄せられている状況に有り、その解決のための具体的な方策としては必ずしも一方の対応では満足させられないような、言い換えれば、多様な方策を組み合わせながら対応していくことが期待されると考えられます。

農業振興	地場流通の促進	53.6%
	特産品のPR・市場拡大	38.1%
	農地の都市的活用	18.7%
	専業農家の育成	18.7%
	都市近郊型農業の振興	12.5%

特産品をドンドンPRしようよ
「地場流通に力を入れる」に最も多くの回答が寄せられ、五三・六%を占めています。これについて「筆柿・イチゴ・長ナスなど町の特産品のPRにつとめ、特産品の市場拡大を図るべきである」が三八・一%と高い割合を示しています。農家に限定して尋ねた場合も同様の傾向が出ています。

これまでの積極的な企業誘致の結果として、工業の集積が一定の程度にまで高まったこと、しかも、新たに誘致した企業には優良な企業が多く、高い生産性を持った工業が行われていることがあげられます。さらには、町民の価値観が経済面を重視する方向から暮らしや生活を重視する方向へと変化してきていると考えられます。

工業振興	仕環境整備に重点を移す	33.2%
	今以上の工場は不要	30.0%
	多様な業種の企業誘致	20.2%
	一層の積極的な工場誘致	16.2%
	工場の移転用地確保	16.1%

職場の近くに
住みたいね

複数回答

健康

Q. 健康についての関心度は	
強い関心をもっている	22.8%
関心をもっている	59.2%
あまり関心がない	15.0%
まったく関心がない	0.9%
不明	2.1%

医療

Q. 普段よく利用する医療施設は	
町内の施設	46.5%
町外の施設	44.2%
医者にかからない	7.5%
不明	1.8%

Q. 町の医療施設の状況は(トップ3)	
専門科目がない	59.7%
施設の数が少ない	35.2%
待ち時間が長い	30.6%
(複数回答)	

Q. 具体的に不足している専門科目は(トップ5・複数回答)		
第1位	耳鼻咽喉科	350人
第2位	皮膚科	225人
第3位	眼科	85人
第4位	小児科	80人
第5位	外科	31人

体育・スポーツ

Q. 整備を望む体育・スポーツ施設は(トップ5・複数回答)		
第1位	町民プール	82人
第2位	サッカー場	50人
第2位	総合体育館	50人
第4位	総合グラウンド	45人
第5位	テニスコート	43人



若者のまぢづくりには

複数回答

安く土地が手に入れば
ずっと住めるんだけど

年齢別にみると、二〇歳代の若い世代では「良質で低廉な価格の住宅地の提供」を期待する意見が多く、四四・三%と高い割合を示しています。

学区別に見ると「生活基盤の一層の充実」を第一に求めているのは、中央学区、荻谷学区の二つの学区で、幸田学区、深



【若者や若い世代の定着を高めるには今、何が必要と思われますか トップ5】

第1位	生活基盤の一層の充実	37.9%
第2位	良質低廉な住宅地の整備	37.2%
第3位	多様な職種の職場づくり	27.3%
第4位	地域の古い慣習の改善	23.3%
第5位	若者の交流の場をつくる	10.6%

溝学区、豊坂学区では、「良質で低廉な価格の住宅地の提供」が上位となっています。また、坂崎学区では「地域の古い慣習を改める」が四四・七%で最も多くなっています

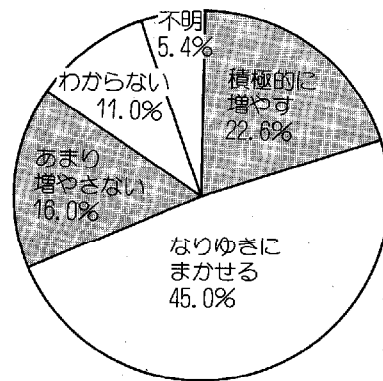
他学区との大きな相違を見せています。ここにも地域性の違いが明確に現われています。

将来人口は

複数回答

なりゆきにおまかせ

【町の将来の人口】



【人口を増やすべき理由 トップ3】

第1位	市制期待 イメージ向上	35.5%
第2位	各種公共施設の充実	32.2%
第3位	地域経済の発展	26.1%

【あまり増やさない理由 トップ3】

第1位	居住環境の悪化	53.7%
第2位	地域コミュニティ崩壊の懸念	22.1%
第3位	まちが雑然となる	14.1%

「なりゆきにおまかせ」が四五・〇%、「わからない」が一・〇%あり、増やすあるいは増やさない

といったいずれかの積極的な意向を持たない層が五六・〇%と半数以上を占めています。

女性の社会参加は

複数回答

安心して働けるようにしてほしいな

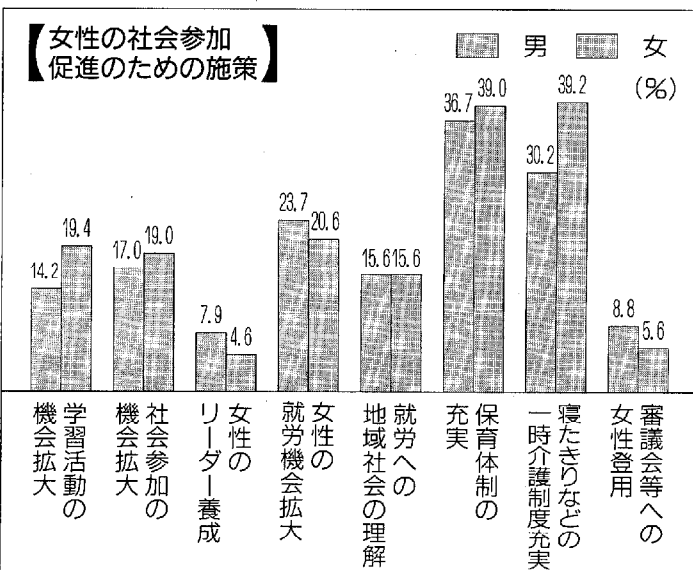
女性の社会参加をより活発化していくために、今後どのような対策を展開すべきかについては、

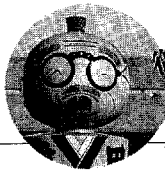
「安心して働けるような保育体制の充実」が三七・五%、「安心して外出できるような、寝たきり老人などの一時介護制度

の充実」が三四・八%でこの二つが特に高い割合となっています。

これを男性と女性で比較すると、「女性の就業機会の拡大」を男性の方が必要な対策として考えている割合が高くなっています。

【女性の社会参加促進のための施策】





御意見
申し上げます。

町民意向調査結果・後編

たくさんのご意見 ありがとうございました

—まちづくり学区懇談会開催—



町では、平成八年度から始まる新しい総合計画の策定のために、町民意向調査に並行して、平成五年十一月十六日から同年十二月二日にかけて学区単位に計六回の「まちづくり学区懇談会」を開催しました。町から町長を始め幹部職員が出席し、町民側からは計四百十五人の参加がありました。
この懇談会でいただきました主な意見や提言の要旨を学区単位毎にお知らせします。

坂崎学区

- ・京ヶ峰の森林景観資源の有効活用（公園・遊歩道・計画的住宅開発など）
- ・新住民定着のためにも墓地公園の整備
- ・多目的広場の整備やより広いグラウンドの造成
- ・企業リストラの時代こそ町も積極的な行政改革の推進
- ・若い人の住みよいまちづくりと働く場の確保



幸田学区

- ・広田川の改修促進と上流側の開発行為に対する渇水対策
- ・広田川・相見川合流部三角州地帯を運動公園として整備
- ・総合的な医療施設の設置
- ・大井池周辺のレクリエーション的な環境機能化

中央学区

- ・町の地場産業の発展と大型店舗の誘致

萩谷学区

- ・広田川遊水地計画及び菱池開墾のほ場整備にあたっての地元提案の受け入れ
- ・中小企業団地の早期実現
- ・町民会館（仮称）の建設における福祉的設備の配慮
- ・家族で一日遊べるような多目的な総合運動公園の整備
- ・救急救命士の養成

- ・幸田駅前道路の大型規制対策
- ・幸田駅の橋上化と駐輪場の整備
- ・バランスのとれた、人口増に見合った公園などの施設整備
- ・下水道整備における埋管工事と道路整備計画との整合性
- ・行政区のバランスを維持するための行政区の再編成

深溝学区

- ・菅師川の水辺環境への配慮と拾石川下流部の浚渫

豊坂学区

- ・総合的な運動場の整備
- ・海谷区内にも市街地を設けて人口増加と住宅開発による定住化の推進
- ・歴史的文化遺産として深溝城の建設
- ・公共施設の駐車場対策

- ・野場横落線の早期整備
- ・広田川上流部の清流化
- ・六栗西山地区の開発を始めとする計画的土地利用
- ・老人ホーム、福祉センター、運動場、医療施設を備えた福祉ゾーンとしての拠点整備
- ・将来の人口流入に対処すべく深溝野場の中間点に小学校の新設



【問い合わせ先】

幸田町総務部企画課企画係

☎62-1111（内線3221）

福祉を 考える

はじめに

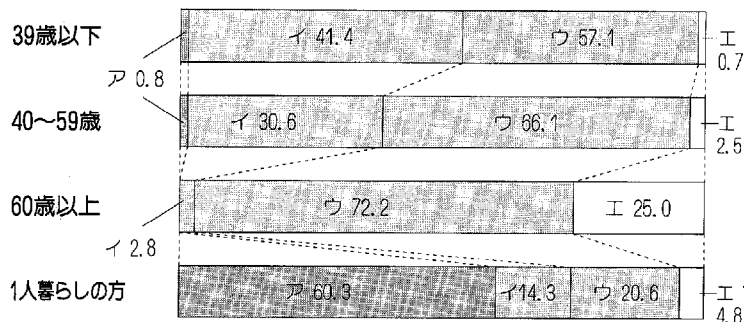


生活学校生
大場真理子さん

人は誰でも生まれた時から、老いに向かっています。でも私たちが、老後に対して言いようのない不安を持ち、そのために今を心豊かに生きる余裕をなくしているような気がします。

今を安心して心豊かに生きるためには、「安心して老いる」ことができません。家族と地域社会、そして行政がお互いの力を合わせることににより、老いてなお安心して暮らせる、そんな町にしていきたいものです。

そこでまず、住民の意識など現状を把握するため、私たち生活学校では、次のアンケートを実施しました。

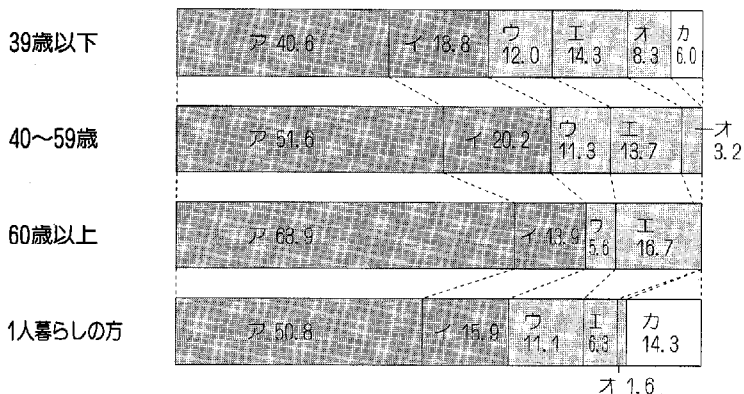


【選択肢】 ア：1人暮らし イ：夫婦2人
ウ：3世代同居 エ：無回答

— 一人暮らしの方の六割は今の生活を理想としている。

Q1 あなたが一番理想と思う老後の暮らし方はどれですか。

アンケートに答えていただいた方	アンケートの方法
~39歳 133人	生活展でアンケート用紙を渡し、その場で記入
~59歳 124人	
60歳~ 36人	
1人暮らしの方 (65歳以上) 63人	個別訪問による面接
合計356人(女性282人、男性74人)	

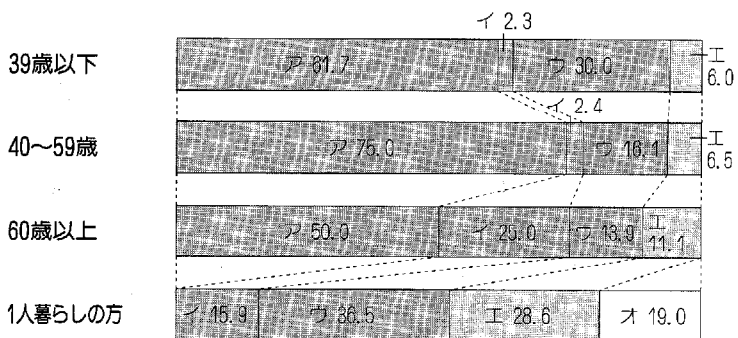


【選択肢】

- ア：今住んでいる所
- イ：子どものいる所
- ウ：特別養護老人ホーム
- エ：老人病院
- オ：有料老人ホーム
- カ：無回答

在宅での暮らしを望む人が約七割、施設、病院では一割である。

Q2 もしからだの不自由になったらどこに住みたいですか。



【選択肢】 ア：夫または妻 イ：嫁 ウ：子ども
エ：ホームヘルパー、その他 オ：無回答

年齢とともにホームヘルパー等行政サービスを望む率が高まる。

Q3 もしからだの不自由になったら誰に世話をしてもらいたいですか。

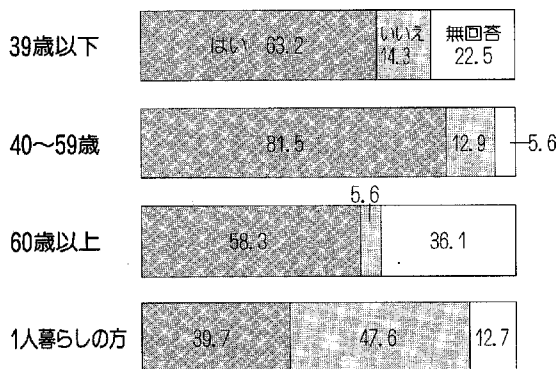


▲サービスレクリエーション大会

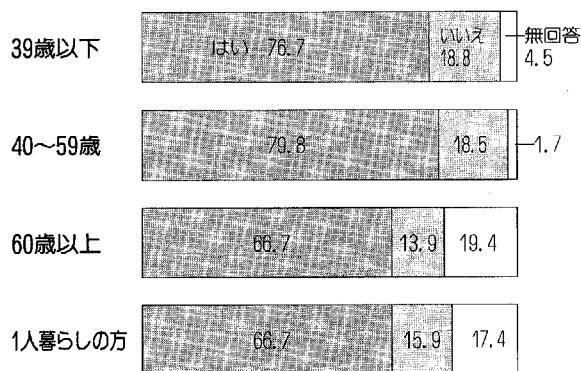


▲デイサービス クリスマス会

賛成する人は、**四〇歳代**、**五〇歳代**でピークとなっている。

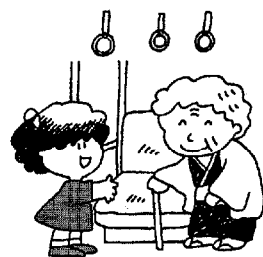


Q4 あなたは税金が少しくらい高くても安心して老後を迎えることのできる社会の方が良いですか。



在 宅以外の暮らし方を望む人が少数派ですが存在します。

Q5 スウェーデンでは、寝たきりでも一人で暮らせるほど福祉が進んでいます。日本でそれが実現したら、あなたは在宅で暮らしたいですか。



まとめ

アンケートの結果から、からだか不自由になっても、在宅で、家族の介護により暮らしたい人が多いことがわかります。一方、60歳以上の人は、ホームヘルパー等、支援の必要性を感じているようです。また、一人暮らしの方の中には、気楽なので今の生活をできるだけ続けたいが、からだの衰えに不安を感じている人が多くいました。

少子化と長寿化が同時に進行していく中、家族だけによる介護は、将来的には困難になるでしょう。残っている能力を生かす形で、できない部分を気軽に助けてもらえるシステムがあれば、不安も解消されます。さらに、一人暮らしの方の中には、できるだけ世間の人に迷惑をかけたくない、という人が多くいました。

税金が高くなつては申し訳ないという気持ちや質問4の結果にも現われていると思います。このような意識も変えていく必要があるのではないのでしょうか。

今までさまざまな人生を歩んできた高齢者が、さまざまな老後の暮らし方を自分で選択できること、そしてどの選択をしても最後まで人間らしく生きられること、これが豊かな高齢化社会といえるのではないのでしょうか。

そのために必要なことは2点あると思います。

第一に次のようなシステムの充実や確立です。

- ① 公的ホームヘルパー
- ② 老人ホームや老人病院の居住空間の最適化
- ③ 往診、訪問看護、訪問リハビリ重症者のためのデイサービス
- ④ 食事の宅配サービス
- ⑤ 民間ボランティア
- ⑥ 企業の介護休暇制度の充実

第一に福祉を受ける側、そしてそれを支える側である私たち自身の意識を高めていくことです。若い頃から老後に対して前向きに考え、いろいろなシステムの必要性を声に出していくことが、福祉をより充実させるのではないのでしょうか。

人生の最後を主体的に生きる、これはそんなにせいたく望みでしょうか。この望みがかなえられる社会が実現された時、はじめて人は安心して老いることができるのだと思います。



▲生活展においてアンケート調査を実施

トウガラシは本当に体を温かくするの？

南部中学校科学部

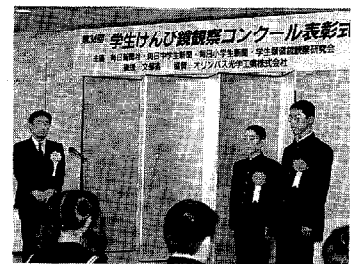
学生けんび鏡コンクールで第1部2等賞（中学校の部）受賞



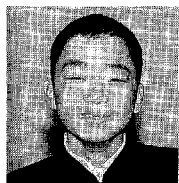
▶けんび鏡を使って観察中。

冬におばあさんが「今日も寒いねえ。足が凍えそうだよ」と言って、トウガラシを靴下の中に入れていました。「トウガラシを入れておくと、足があつたまるのだよ」。本当にそうだろうかと思いましたが、そして僕たちは研究を始めました…。

理科研究は、身のまわりに転がっていることにかに科学的に目を向けていけるかがねらいです。今回、科学部員の皆さんは4か月に及ぶ研究をまとめあげ、このコンクールに初めて応募しました。そして全国からたくさんのお品がある中、2等賞を受賞しました。おめでとう！ちなみに実験の結果、トウガラシの皮の部分は効果があるそうです。



▲1月28日(金)に東京如水会館で行われた表彰式。



長谷武志さん
(2年)

けんび鏡でオタマジャクシの血球を数えるのが大変だった。



栗山 淳さん
(2年)

足に絵の具を入れて実験した時グチャグチャして気持ち悪かった。



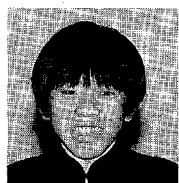
稲吉豊弘さん
(2年)

他の中学校の研究もすごかった。表彰式は緊張した。



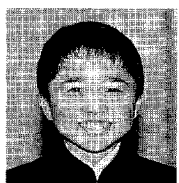
大竹正騎さん
(1年)

トウガラシが顔について時ヒリヒリして痛かった。



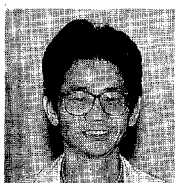
米津貴正さん
(1年)

研究はすべてが難しかったけど賞がとれてとてもうれしかった。



壁谷智尋さん
(1年)

研究は長いようで短かった。賞は半分驚いて半分うれしかった。



横山健彦教諭

これからも身近な現象を見つめる目を持ってほしい。

町政モニターだより

住民意識調査に思う



稲吉 智子 さん
(上六栗)

私は縁あって幸田町に23年間お世話になってます。何の心配も苦労もなく月日が経ってしまいました。それだけ住み良い町であったことを今更ながら痛感した次第です。

1月の広報紙で、幸田町の住みごちと題して住民意識調査が載っていました。その中で、653人の回答の中から全体の約75%の方が「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と答えていました。

この数値を高いと見るか、低いと見るか、人それぞれでしょうが、私は75%の陰には、行政に携さわる方々の努力の結果があるのではないかと思います。町政をモニターできるような私ではありませんが、あとの25%の方にも「住み良い町です」と胸を張って答えていただけるようになると良いと思います。それには、医療機関の充実、高齢化対策事業での福祉施設の問題、先進国と言われながらも後進国である下水道完備、また、交通安全対策を十分検討した上での道路整備や町民会館（仮称）完成等を早急に実現し、幸田町の財産でもある自然環境と発展とのバランスがとれた町づくりをしていただきたいとします。また、それを見守って行き、次の世代を担う子どもたちへ渡すことが、私たちの責任であるように思います。

なつこころ消防団

明るく楽しい消防団入団のスズメ

消防団は、本町における防災の中核として重要な役割を果たしています。

そのために消防団員は、任期の間に特別な知識や技能などを修得します。災害現場における集団行動の基本となる礼式、火災防衛、応急手当などの特別教育は、消防団員が帰属する地元地区社会の振興に大いに貢献しています。



第3分団長
坂本幹也 さん

現在、幸山町の消防団は団長以下総勢百四十七名で、団員の年齢構成のほとんどが二十歳代と若く活力にあふれています。

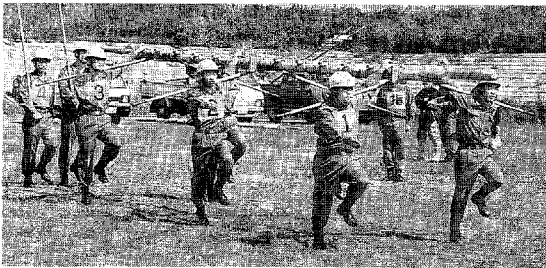
消防団員は、非常勤の特別職公務員という身分を有していますが、その活動は、自らの仕事に従事しながらの地域活動であり、ボランティア的性格の強いものです。そしてなにより、若

い世代が地域住民の代表として地元へ貢献できる良い機会であると思います。

近年の社会情勢・就業構造の変化により、私たち消防団を取り巻く環境も変わりました。サラリーマン団員が増加し、新入団員の確保も困難になりつつあります。

私も町外勤務であり、現在まで七年間消防団活動に従事してきました。その間、早朝訓練、真夜中の火災等つらいこともありました。しかしそれ以上に、年齢・地域を越えた人との素晴らしい多くの出会いもありました。

あなたの若さあふれる活力で未知の可能性を消防団活動に生かしてみませんか。



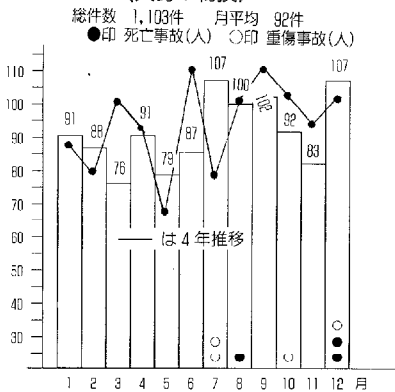
事故に遭ってからは遅いのです

平成五年度交通事故の状況

町内で発生した昨年の交通事故件数は千三百三件で、昨年と比べて若干減少したものの、町内で一日平均三件発生していることとなります。

また、全国交通死亡事故のワースト順位で愛知県は、北海道千葉県について三位(五五三人)でした。交通事故は、ちょっとした油断から発生します。私たち一人一人が交通ルールやマナーを守り、交通事故を防ぐよう心がけましょう。

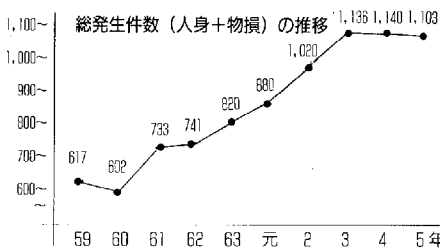
月別事故発生件数 (人身+物損)



岡崎警察署管内市町別交通事故発生件数 単位:件

年別	区分	死亡	重傷	軽傷
5	総件数	26(29)	38	1,581
	岡崎市	23(25)	34	1,430
	幸田町	2(3)	4	125
	額田町	1(1)	0	26
4	総件数	40(40)	52	1,571
	岡崎市	32(32)	44	1,422
	幸田町	8(8)	4	135
	額田町	0(0)	4	14
増減	総件数	-14(-11)	-14	+10
	岡崎市	-9(-7)	-10	+8
	幸田町	-6(-5)	0	-10
	額田町	+1(+1)	-4	+12

()は死者数



お知らせ

幸田町役場 ☎62-1111

水道工事責任技術者資格試験

水道課業務係（内線273）

願書受付 4月1日(金)～8日(金)

試験日 4月中旬

受験資格

- ①高等学校、もしくはこれと同等以上の学校で、土木・建築または機械など水道工事に必要な課程を修めて卒業した人で、2年以上給水工事に従事した経験のある人。
- ②前項以外の人で、5年以上給水工事に従事した経験のある人。

森林の伐採と植林

産業課農政係（内線215）

森林の木を伐採するときには、伐採の届出と許可が必要です。対象となる森林は森林法の規定にある「地域森林計画」の対象民有林で、町内のほとんどの森林が含まれています。したがって、この点に注意し、必ず届出をしてから伐採してください。

許可される行為

- ①立ち木の伐採
- ②農地、宅地などの造成（森林の転用）
- ③土石の採取

なお、次の場合には別に許可が必要です。ご注意ください。

- ①保安林、自然公園内の立木伐採
- ②1ヘクタールを超える森林開発
これらの行為をするときは、必ず伐採届を提出してください。これは、森林所有者等が、伐採を開始する90

日から30日前までにこの届を役場に提出していただき、役場を経由して知事へ提出します。

また、立ち木の伐採については、そのまま放置することはできませんので、2年以内に植林されることが必要です。特に平成7年度までを「皇太子殿下御成婚記念」として行う植林の推進をしています。

実施にあたっては植林面積が0.1ヘクタール以上であることと「皇太子殿下御成婚記念造林」と明示した標柱の設置をお願いします。

勤労者融資

ろうきん相談センター
(フリーダイヤル) ☎0120-226-616

勤労者の福祉制度として、次のような融資が利用できます。

申込資格

- ①勤続年数が1年以上の人
- ②居住年数が1年以上の人
- ③愛知県勤労者信用基金協会の保証が受けられる人

主な融資制度の内容

担保	融資限度	返済
生活資金…無担保	70万円	5年以内
教育資金…無担保	300万円	10年以内
自動車購入…無担保	300万円	10年以内
住宅資金…有担保	5,000万円	30年以内
生き活きローン…有担保	5,000万円	30年以内

取扱金融機関/愛知県労働金庫本・支店

お客様窓口を閉店します

NTT岡崎支店羽根営業所

3月4日(金)をもちまして、NTT岡崎支店羽根営業所お客様窓口を閉店します。今後につきましては下記「窓口又は電話」をご利用ください。

お客様窓口	NTT岡崎営業支店 お客様営業窓口 (〒444 岡崎市康生通南3-39)	〈営業時間〉 9:00～16:00 ※土、日、祝日も除く
電話の新設、移転等のお申込み、お問い合わせ	局番なしの116番	〈受付時間〉 9:00～17:00 ※土、日、祝日も除く
電話料金のお問い合わせ	(0564)21-0500	
電話の故障受付	局番なしの113番	終日
電報の受付	局番なしの115番	8:00～22:00

寄付

ありがとうございました

社会福祉協議会へ

伊澤秀様 特殊寝台ほか6品
太田さか様 金1,500円
東海土佐犬親睦会蒲郡支部様
(東海土佐犬闘技大会の福祉募金)
金37,713円

松下電工(株)様

(不用品チャリティーバザー収益金)
金63,000円

山本様 ベルマーク・使用済切手
幸田町へ

鈴木和人様 絵画2点
幸田文化協会様

(中央公民館の備品充実のため)

多目的パネル5枚

さらに拡大します — 乳幼児医療費助成制度

乳児の羅病については、母親からの免疫が3か月から1年で消失し、その後は発病しやすい状態になることから適切な医療を受けやすくする必要があります。特に3歳児までは、心身ともに人間形成の基礎となる極めて重要な時期であることから、将来の社会を担う児童を育成することを目的として拡大実施します。

○すでに資格を喪失されている対象者には直接ハガキで通知します。

○従前の受給者証で有効期間のある人は、そのまま使用でき、更新時には直接通知します。

○詳細は福祉部福祉課福祉医療係へ（内線121）

制度拡大の内容

	現行制度	拡大
対象年齢	2歳未満児	3歳未満児（平成3年4月1日以降生まれを対象）
給付内容	入院、通院とも対象	同 左
所得制限	なし	同 左
実施時期	平成5年4月1日	平成6年4月1日

テレホンサービス 身近な情報 24時間



フリーダイヤル

ミンナノヤクバ1番

0120-378981

◎情報～お茶の効用

定員 30人
対象者 町内在住在勤の女性
参加料 2,000円
申込み 3月16日(水)～25日(金)

春休み少年柔道教室

社会教育課スポーツ係(内線411)

とき 3月25、27、28、29、31日
(5回)

午後6時30分～8時

ところ 幸田中学校武道場

定員 30人

対象者 町内小中学校の児童生徒及び園児(性別、経験不問)

参加料 1,500円

申込み 3月10日(水)～18日(金)



青少年の科学体験まつり

(財)日本科学協会

☎03-3502-1931

とき 3月20日(日)・21日(月)

午前10時～午後4時

ところ 蒲郡市民体育センター

内容 新しい科学の紹介、楽しい科学遊びやクイズ、五感体験コーナーなど。



募集

常任統計調査員

企画課情報係(内線322)

募集人員 5名程度

主な職務 調査対象へ調査票の配布及び収集を行う。

応募資格 統計に理解のある20歳以上の町内在住者

任期 委嘱から3年間

応募方法 企画課にある所定の用紙で申込みください。

応募期限 3月22日(火)

町営住宅入居者

都市計画課 建築係(内線241)

住宅名 町営横落住宅(第1種)

募集戸数 1戸

構造 中層耐火構造4階建

家賃 月額30,000円

申込資格
・同居親族がいること
・収入基準に適合していること
・住宅に困窮していることが明らかであること

受付期間 3月1日(火)～15日(火)

入居予定 4月1日(金)

※応募多数の場合は抽選をします。
その他、詳細は上記までお問い合わせください。

県立岡崎高等学校定時制生徒

県立岡崎高等学校 ☎51-0202

修業年限 4年(始業17時20分 終業20時50分)

募集生徒 普通科 40名

願書受付 3月14日(月)～24日(水)

学力検査 3月29日(火)

合格発表 3月30日(水)

※3年卒業コースも設置しています。本人の努力により3か年で卒業できるようになっています。

その他

6年度学校体育施設利用登録制度

社会教育課スポーツ係(内線411)

受付期間 3月1日(火)～31日(水)

※申請には団体責任者の印鑑が必要です。なお、未登録団体は施設を利用できませんので、必ず登録してください。

3月の神経芽細胞腫検査

保健課健康係(内線183)

平成5年9月生まれの子どもの対象に、神経芽細胞腫検査を行います。4か月児健診で配布した「ろ紙」に尿を湿らせて、愛知県健康づくり振興事業団へ郵送してください。

愛知県移動図書館

社会教育課文化振興係(内線412)

とき 3月16日(水)

ところ 坂崎公民館

▷午前11時～11時50分

町立文庫

▷午後1時～1時50分

貸出料金 無料

次回巡回日 平成6年4月27日(水)

平成6年度 幸田町児童クラブ入会希望者募集

昼間保護者のいない留守家庭の児童の健全育成を図るため中央小学校において下記のとおり実施します。

対象▶昼間保護者のいない留守家庭で適切な養育を得られない1年～3年の児童

定員▶20人 指導員▶幸田町児童クラブ指導員

指導日及び時間

▶1)毎週月曜日～土曜日の下校時から午後6時まで

2)小学校の長期休業日、第2土曜日及び学校行事等による特定休業日の午前9時から午後6時まで

休日▶日曜日及び祝日、年末年始

指導内容▶遊びを主とした児童の健全育成

費用▶毎月2,500円(おやつ代等)

その他▶学校の夏休みや半日授業等で給食のない日は必ず弁当を持参すること。送迎は保護者等で行い、迎えの時間は厳守のこと。

申込み▶3月25日(金)までに福祉課児童係(内線125)へ。

お知らせ

幸田町役場 ☎62-1111

相談 (無料)

行政相談

電話相談 ☎62-1111 (内線141)

とき 3月16日(水)
午前9時～正午

ところ 役場1階 101会議室
相談員 池田一市氏

(自宅) ☎62-1302

女性相談

福祉課福祉係 (内線124)

とき 3月2日、16日(水)
午前10時～午後3時

ところ 役場1階 101会議室
相談員 愛知県女性相談員
内田良子氏

少年相談

電話相談 ☎62-1111(内線143)

とき 毎週月～水曜日
午前8時30分～午後5時

ところ 役場1階 少年相談室
相談員 加藤忠氏

青少年に関する悩み等、なんでもお気軽にご相談ください。

※4月1日からは会場が中央公民館第3会議室に変更します。

老人健康相談

保健課健康係 (内線183)

とき 毎週火、水、金曜日
午前10時～正午

ところ 老人福祉センター

担当医 相馬駿量氏 (水・金のみ)

内容 検尿、血圧検査、診察、保健指導

○相談を受ける人は、健康手帳をお持ちください。

○曜日は都合により変更することがあります。

母子家庭相談

福祉課福祉係 (内線124)

とき 毎週月曜日
午前10時～午後4時30分

相談員 愛知県母子相談員
小坂まり子氏

心配ごと相談

福祉課福祉係 (内線124)

とき 毎週水曜日
午前9時～正午

ところ 役場1階 101会議室
相談員 3月2日 清水佳子氏
塩山泰道氏
9日 平松國二氏
志賀茂代氏
16日 山崎隆氏
松本芳枝氏
23日 清水正幸氏
本多とし子氏
30日 鈴木拾男氏
近藤ひさよ氏

難病相談

岡崎市医師会 ☎52-1572

とき 相談したい日時を電話予約してください。

ところ 岡崎市医師会難病相談室

催し・講座

老人福祉センター行事

☎62-1124

3月1日(火) 民踊 (火曜会)
8日(火) 民踊 (永野会)
15日(火) 民踊 (千鳥会)
18日(金) 大正琴・煎茶
25日(金) 民踊 (佐々波会)

硬式テニスナイター教室

社会教育課スポーツ係(内線411)

とき 4月2日(土)から毎週土曜日 (8回)

午後6時30分～8時

ところ 中央運動場テニスコート

定員 30人

対象者 町内在住在勤の男女

参加料 2,000円

申込み 3月10日(木)～18日(金)



レディース硬式テニス教室

社会教育課スポーツ係(内線411)

とき 4月13日(休)から毎週水曜日 (8回) 予備日：金曜日

午後1時～2時30分

ところ 中央運動場テニスコート

ストップ・ザ・交通事故

1月の事故状況	件数(人数)	累計 (1月)
	死亡	0(0) 0(0)
	重傷	0(0) 0(0)
	軽傷	11(13) 11(13)
	物損	87 87

高めようモラル守ろうルール

幸田町犯罪状況(1月)

お出かけは

侵入盗	0
車両関係盗	2
その他	2
計	4

一声かけて カギかけて

今月の税金と料金納付

●所得税	第3期
●贈与税	全期
※納入期限	3月15日(火)
●国民健康保険税	第6期
●国民年金保険料	3月分
●上・下水道料	1・2月使用分
●保育料	3月分
※納入期限	3月25日(金)

広報でみる40年

昭和35年～39年

迷技、珍技続出

昭和三十五年四月二十四日(即)、幸田中学校校庭において、額田町との親善バレーボール大会を初めて開催しました。本町におけるバレーボールの奨励については前々回でお話ししたとおりですが、また一つ、その成果(?)を試す機会ができました。



▲第17号(昭和35年5月1日号)の広報から
青年団チームなど全十二チームで十四試合を行いました。

合を行いました。結果は七勝七敗と仲良く引き分けだったようです。現在も、六月の最終日曜日に郡民バレーボール大会を行い、両町の親睦を深めています。

10周年 町営プールで大はしやぎ



▲小中学校音楽パレード

昭和三十九年は町村合併十周年にあたります。そこで数々の記念行事を行いました。記念式典はもちろ

のこと、祝賀飛行や人文字、小中学校音楽パレードを行い、また、幸田町商店街の大売出しもあり、町をあげて十周年をお祝いしていたようです。

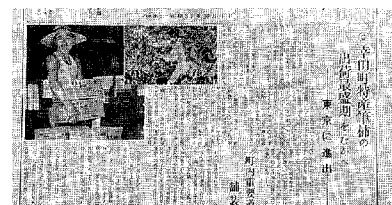


▲プールではしゃぐ子どもたち

ところで、十周年のメイン事業は何といっても町営プールのオープンでした。二五メートルが七コースの親プールと面積一〇〇平方メートルの子どもプールからなっていました。料金は小人二時間十円、大人二十円でした。八月十五日(第八一号)では、オープンから九日間の利用状況を掲載しています。それによりまして、延べ五、五四八人が利用しました。一日平均の人口が約一万七千人ですから、一日で町民の二十八人に一人が訪れたことになります。しかし、皆

まちのあゆみ

昭和35年	5/1	第1回額田郡親善バレーボール大会開催
	10/22	幸田町全域に都市計画区域指定
36年	7月	東海道新幹線工事が町内で始まる
37年	8/30	本田桂氏町長に再選
38年	4/21	葵カントリークラブ開業
	8/1	広報紙をタブロイド判に変更
39年	8/1	町村合併10周年式典
	8/1	町営プール開始
	9月	幸田町の筆柿、東京へ初出荷



▲第84号(昭和39年10月1日号)の広報から
出荷量は約七五トンでした。現在は関東方面だけで約四七〇トン。総出荷量は一、〇六〇トンで全国の生産量の九五%を占め日本一です。

特産筆柿、東京進出

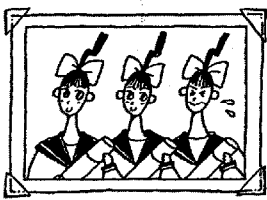
本町特産の筆柿が東京へ初出荷されたのは昭和三十九年の秋でした。

さんから親しまれてきたプールも昭和五十九年八月に取り壊され、代わりに学校プール開放を開始しました。それから、十年。今号の町民意向調査(五ページ)の中で、整備を望むスポーツ施設のトップに町民プールが挙げられ、町民の皆さんの関心の高さが伺えます。

編集後記

▼先日、フラシックコンサートに行った。私にとって、音楽の授業でしか聴いたことのないジャンルであり、少々不安であった。そこで、会場で眠らないように、前日は早めに布団に入り、当日、ポケットには某メーカーの眠らないガムを忍ばせて出かけた。▼しかし、そんな心配はまったく無用だった。曲を知らなくても、これが結構楽しめるのである。指揮者の蝶のように舞い、蜂のように刺(指)す動きは芸術的だし、演奏者との軽妙なコントも面白かった。そして、最後は観客も手拍子で演奏に参加するのだ。今までの私の持っていたイメージを変えさせられた。よし、これからはフラシックも聴こうと決心して会場をあとにした。▼それから数日が過ぎた。いまだ私のカーステからは、□マンズの神様にお願ひしてる恋する女のこの歌が元氣よく流れている...

3 MAR



卒業おめでとう